

令和6年度事業報告書概要（葛西海浜公園）

指定管理者：葛西海浜公園パートナーズ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・建物管理

衛生器具などの清掃については、基準以上の回数を実施しトイレの美化に努めました。また、トイレの壁上部の隙間を塞ぐことで、のぞき見などの事件を防止し、利用者が安全に利用できる環境を整えました。

・園地管理

パークコーディネーターが中心となり、多様な主体のパートナーシップによる様々な清掃活動を実施しました。団体や企業による清掃活動の受入れや地域団体と連携した清掃活動イベント、来園者向けのセルフ式海岸クリーンアップイベントを実施し、累計2,246名の参加者と力を合わせ、葛西海浜公園の西なぎさおよび東なぎさのゴミの削減や環境美化に努めることができました。



< 清掃活動の様子 >

・希少植物、希少鳥類の保全

希少植物ウラギク（東京都絶滅危惧ⅡB類）の保全対策として、東なぎさで採取した種をポットで育て、生育地に移植しました。漂着ゴミの影響も受けましたが、無事結実した株が2株あり種子の採取に成功しました。また、野鳥の営巣地として保護区を整備し、シロチドリ（東京都絶滅危惧ⅠA類）、コアシサシ（東京都絶滅危惧Ⅱ類）、ヒバリ（東京都絶滅危惧Ⅱ類）などの希少鳥類の保全に努めました。シロチドリについては幼鳥2羽、ヒバリについては幼鳥4羽の巣立ちがそれぞれ確認されました。



シロチドリ（東京都絶滅危惧ⅠA類）



シロチドリの巣と保護シェルター



ポットで育てたウラギクの種



ウラギクの植替えと開花したウラギク

< 希少植物・希少野鳥の保全 >

○ 安全性の確保

・海上保安庁による水難救助講習の実施

海上保安庁 東京海上保安部 警備救難課と連携し、公園に設置してある救命浮き輪を使用した漂流者救助訓練と応急手当訓練（AED 含）を実施しました。救命浮き輪を使用した漂流者救助訓練では、海上保安官が実際に水路に入り、漂流者の見え方や潮流による漂流速度を確認し、救命浮き輪の適切な使い方や使用時の人員体制などもご指導いただきました。海上公園特有の状況や環境を想定した訓練内容とし、公園スタッフの知識と技能のさらなる向上を図りました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・地域団体と連携したプロジェクト「かさいキッズレンジャー」

「かさいキッズレンジャー実行委員会」を立ち上げ、個別実施していたイベントに「かさいキッズレンジャー」の冠をつけて全9回のプログラムを企画しました。プログラム内容は今年度が始まる前から各団体と調整し、年間カレンダーを作成しました。最終的には7回実施し、毎回非常に好評であり、申込開始から2日で満員になることもありました。



かさいキッズレンジャー年間プログラムカレンダー



レンジャーによる解説

＜キッズレンジャーの様子＞

・かけっこ教室&ティラノサウルスレース&BBQ

新たな利用者層の獲得および冬季の公園利用促進を目的に、BBQ 管理会社及びスポーツ会社と連携し、「スポーツ×BBQ」をテーマとした「かけっこ教室&ティラノサウルスレース&BBQ」を開催しました。今年度は大小の恐竜の着ぐるみを着て走るティラノサウルスレースを導入し、親子で楽しめるイベントとした結果、イベント後のアンケートでは、「当公園のイベントに初めて参加した」という回答が9割を超え、新たな利用者層の開拓につながりました。



かけっこ教室



ティラノサウルスの着ぐるみ



なごさ思い出のラーメンバナー

＜イベントの様子＞

・物販の充実及び軽食の提供

今年度は「海を目的として来園してないお客様」へ向けた物販を展開する目的で、新たにサンダルの販売を始めました。1年間で最も来園者数が多い5月の潮干狩りシーズンや海水浴体験期間中にサンダルを販売することで、貝殻やプラスチックごみで公園利用者が足を切って怪我をすることが大幅に減少しました。

また、利用者満足度アンケートで「軽食が食べられるようになると嬉しい」という声が多く上がっていたため、冬期（12月）から「なごさ思い出のラーメン」の販売を開始しました。SNSで5万いいねを超える投稿があり、特に夕方の時間帯には女子高生を中心に行列ができていました。

○ 利用の状況

公園全体の利用者数は前年度より2.5%程度増加しました。

○ 行政目的の達成

・東京都主催イベントへの参加及び他自治体等の視察対応

東京都港湾局主催の葛西海浜公園ラムサール条約登録湿地PRイベント「干潟の魅力を学ぼう ラムサール条約湿地・葛西海浜公園」にて、ステージ企画登壇および展示ブース出展などで協力しました。また、2件の視察に対応し、現地にてパークレンジャーが西なぎさを案内しながら、公園の取り組み紹介や、自然環境の解説を行いました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		161,208
内 訳	指 定 管 理 料	161,208
	利 用 料 金	0
支 出 計		159,292
収 支 差		1,916

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。